

経験にかんがみ、3列の同心円上に12+3個、9個、6個と受台を並べる予定でこれは普通のテコ式である。

その他干渉法による鏡面テストの実際についての議論もある。ともかくも私たちが今後100インチ以上の望遠鏡を計画する場合に、鏡面支持受台の問題は第1に解決すべき関門となるであろう。(石田五郎)

雑 報

一酸化炭素 (2.6 mm) スペクトル線

ベル研究所のペンジラス等は、米国国立電波天文台の11メートル電波望遠鏡を使って一酸化炭素のスペクトル線(波長 2.6mm)を発見した。

最初の観測は4月4日に行なわれ、オリオン星雲、銀河中心など5つの銀河系内電波源の近くで見つかっている。

くわしい報告はまだ入っていないが、電波はかなり強いようでオリオン星雲付近ではアンテナ温度40°K近くで、線の幅は視線速度5km/secくらいである。また、この電波のひろがり一度近くもあるらしいことは注目ししよう。銀河中心方向では、スペクトル線は幅100

km/secくらいで非常に複雑な様子を示している。

ホルムアルデヒド(6cm, 2cm)アンモニア(1.2cm)水蒸気(1.35cm)に続いて、いよいよ電波のスペクトル線もミリ波の領域に入ってきた。

ミリ波には分子のスペクトル線が多くあるので、そのいくつかは観測にかかるであろう。今後の発展が期待される。(森本雅樹)

一般相対論の第4の検証

数年前にMITのI.I. Shapiroが、水星や金星の外合の頃をねらってレーダー観測をすれば、太陽のそばを通る電波のみちがまげられ、到達時間が長くなるので一般相対論の第4の検証ができるといったことがある。

ところが、惑星は自転をしていることなどでこれはうまくいかなかったらしい。一方、JPLのAnderson, Muhleman, MartinはMariner 6号、7号が太陽から1°ほど離れた所を通過する前後のレーダー観測に、最大200マイクロ秒に達する時間のずれを見つけ、相対論の第4の検証に成功したと発表している(COSPAR Lenin-grad 総会)

(古在由秀)

天文ガイド別冊 発売中

AAVSO 変光星図

American Association of Variable Star Observers

—変光星観測ガイドつき—

《おもな内容》変光星とは／変光星図(60枚収録)

アメリカの変光星観測者会から許可をもらった星図を紹介

変光星の観測／変光星の写真撮影／星図について

初めて変光星を観測する人のために星図をつけて観測法を解説

★B5変型判・106ページ 定価 450円

既刊書・発売中

最新版全天恒星図 広瀬秀雄・中野繁著 1,000円

初心者のための天体望遠鏡の作り方〈屈折編〉原田光治郎ほか著 350円

好評重版 70年版天文年鑑 250円

誠文堂新光社 東京・神田錦町1の5
振替東京6294 ①101